

VIII 連携等会議

1 ファカルティ・スタッフミーティング

1. 役割・職務

- 1) 教員および職員参加による学事全般に関する連絡、報告を行う。
- 2) 教員および職員参加による学事全般における討議事項を議論する。
- 3) 連絡報告および討議検討を通して、情報共有と周知を図る。

2. 活動内容

- 1) 月1回から2回(4/3、5/15、6/5、6/19、7/3、7/17、9/4、9/18、10/2、10/23、11/20、12/4、12/18、1/15、1/29、2/19、3/5)、連絡報告及び検討事項の活発な意見交換を行った。定例の連絡報告は、学長、学部長、事務局長、教務部長、学生部長、研究センター長、図書館長、健康管理室より行われ、委員会等からは伝達事項がある際に適宜行われた。
- 2) 主な討議事項は、「本学の将来構想」、「危機管理体制」、「広報活動の強化」、「グローバル人材育成推進事業における本学の取り組み」についてであった。
- 3) 主な情報共有と内容周知は、「大学運営」、「保健師科目履修」、「カリキュラム変更に伴う新科目の内容」、「多様な学びのプロジェクト」についてであった。

3. 課題

本年は特に、本学の将来構想について最終報告がなされ、また危機管理体制についての役割分担や業務内容の強化と再確認が行われ、全教職員において活発な意見交換と共に情報の周知がなされた。教職員一同が介する会議であり、情報共有するという点においては、十分に機能している。今後教職員がより活発な意見交換を交わせる場として発展するとよいと考えられる。

2 リエゾン・コミッティ

1. 役割・職務

St. Luke's Medical Center, Tokyo のための基金、Teusler Memorial Fund の使途に関する病院との合同協議

2. 活動内容

2012年度は開催なし

3 聖路加国際病院ナースマネージャー会

1. 役割・職務

- 1) 聖路加国際病院のナースマネージャー会への出席(原則として第1、第3水曜日13:00~14:00)
- 2) ナースマネージャー会における議題のうち、本学の教育・研究に関わる事項について教職員に伝達する
- 3) 必要に応じて、本学の教育・研究活動について伝達する

2. 活動内容

- 1) 2012年度のナースマネージャー会は23回開催され、開催日は下記のとおりであった。
4月11日、25日、5月2日、16日、6月6日、20日、7月4日、18日、8月1日、29日、9月12日、19日、10月3日、17日、11月7日、12月5日、19日、1月9日、23日、2月6日、20日、3月6日、27日。
なお、1月23日は、創立記念行事のため欠席した。
- 2) ナースマネージャー会では、聖路加国際病院並びに関連施設における看護提供に関わる問題の検討ならびに、変更事項の通達がなされる。このうち、本学の教育、研究に関連する事項について「ナースマネージャー会報告」と題し教職員に向けてメールを発信した。
また、看護手順の改訂がなされた際には、教職員にメールにて情報提供を行うとともに、図書館に看護手順等を新たな版に差し替えるよう依頼した。
- 3) ナースマネージャー会において、本学における学事行事、学会、研究会等の開催に関する情報提供を行った。

3. 課題

聖路加国際病院においては、看護手順も含め、いくつかの手順等が作成、改訂されている。これらについて、過不足なく本学教職員に伝達していくことや、更新情報が漏れなく伝達される仕組みを構築することが課題であると考えられる。

4 ウィリアムズ主教記念基金運営委員会

1. 役割・職務

- 1) ウィリアムズ主教記念基金運営委員会（委員長：吉岡知哉立教大学総長）に、聖路加看護大学からの委員としてウィリアムズ主教記念基金の運営に参加する。

2. 活動内容

- 1) 5月8日の第103回運営委員会に参加し下記の報告を受け、課題について話し合った。
 - ・客員研究員3名の動向：1名、研究中、1名10月より研究開始、1名3月終了帰国。
 - ・2011年度の会計報告と2012年の予算案について
 - ・2012年度活動として記念講演会（Robert M. Bellah 氏9月27日～10月8日に招聘し、4回講演予定。招聘関係は小委員会が担当する。
- 2) 12月7日の第104回運営委員会に出席し、下記の報告を受け、課題を審議した。
 - ・客員研究員の状況および辞退報告
現在、来日中の研究員は順調に研究を進めている。10月より2014年3月予定の研究員から辞退があった。

- ・記念講座：“Religion and Civil Society in the Global Age: Voices from Japan and the US”の報告があり、どの講演会も盛況であった。

- ・2013年度の予算の審議

- ・2012-2014年客員研究員（応募者総数8名からの選考）

順位を決め、2名の客員研究の選考を行った。第1位フィリピントリニティー大学看護学部 地域看護選考の教員を聖路加看護大学にて研究予定で採択し、本人に連絡をする。

3) 連絡調整

- ・選考後、第1位の候補からは、辞退との連絡があったとのことで、聖路加看護大学学長・研究科長、教務等関係部署に連絡した。

3. 課題

- 1) ウィリアムズ主教基金で運営されている客員研究員は年々応募が少なくなっている。今後、研究員招聘制度のニーズの見直し等運営委員会の課題である。
- 2) 基金は減少しているが、追加の募金等は現在考えず、基金による活動の見直しが必要である。